



## 開放的な時間

校長 藤森 克彦

先日、新型コロナウイルス感染拡大防止にかかわる対応について、登校を見合わせるなど当該学級をはじめとした保護者の皆さまに、様々なご協力をいただきましたこと感謝申し上げます。なによりも、その後の子どもたちの元気な姿にうれしく思います。

新型コロナの状況については他校からも情報をいただくことがあります。児童がPCR検査を受けるに至った経緯を聞くと、自らの発熱などの発症で受けることよりも、同居家族がPCR検査の結果陽性となったため濃厚接触者として検査を受けるケースがほとんどのようです。保健所の指示でお子さんがPCR検査することになった場合、検査する日から2日間ほどさかのぼってお子さんの行動を保健所に伝えることとなります。具体的には、検査する日の前日や前々日に登校していた状況やどのような活動をしていたかということです。そして、それらの情報を基に保健所が周囲に検査が必要な対象者がいないかどうかを判断します。もし検査が必要な対象者がいる場合は、検査の結果が出るまで出席停止をお願いすることになります（それが学級単位ならば学級閉鎖となります）。同居の家族の方がPCR検査するに至る過程で何らかの兆しや体調不良が生じた場合、できるだけ早い段階でお子さんの登校を見合わせていただきますと、感染の広がりを抑えられるのではないかと考えています。

いずれにしても、保護者の方にとっては急な話になりますし、ある程度長期にわたりご心配とご負担をおかけすることになります。ご都合や仕事のやりくりなども大変かと思いますが、何よりもご自身のお子さんの健康・安全を最優先することには変わりありませんので、今後とも引き続きご理解ご協力をお願いいたします。

さて話は変わりますが、日曜日にもかかわらず我が家の家族の帰りが遅くなるとのことで、自宅近くの駅前の中華料理店に一人で夕食を食べに行きました。私の注文が終わったころ、四人組の家族が入ってきて隣のテーブルに座りました。その家族の父親はすぐスポーツ新聞を読み始め、小学生であろう男の子と中学生くらいの姉は、電子ゲームとスマホを夢中でいじっていました。メニューを見ていた母親が少し面倒くさそうに「何にする?」。すると父親が一言「レバニラ炒め」。姉はスマホをいじりながら「焼きそば」。「お前は?」と聞かれた弟までが「同じ」。と単語だけのやりとりが続きました。その後は母親がテレビに目を向けて、四人とも黙ったままでした。

しばらくして、その家族のテーブルにビール1本と注文の食べ物が届きました。この瞬間がたまらないところですが、父親も子どもも新聞やゲーム・スマホから目を離さないのです。父親は片手でコップを持ち、片手で新聞を動かしたりおさえたりしています。子どもたちも右手で焼きそばを口に運び、左手の指で画面を動かしています。母親はテレビの歌番組をつまらなそうに見ながら食べていました。私が食事をしている15分ぐらいの間、この親子はとうとう会話をしませんでした。「レバニラ炒め」「焼きそば」「お前は?」「同じ」…これで言葉は切れてしまったのです。この家族はいつもこうなのでしょう。一日のうちで一番楽しいはずの夕食時間がどうしてあんなことになってしまうのか。感染防止というわけでもなく普段からそうなのかなと、その風景が頭から離れませんでした。

日曜日の夕方あたりから、また一週間学校や仕事に行かなければならない現実にはちょっと憂鬱になることがあります。『サザエさん症候群』などとも言われるそうですが、子どもたちも月曜日からの登校になんとか「嫌だなー」という気持ちになることがあるかもしれません。また、子どもなりにどうにかして乗り切っていこうと考えているかもしれません。そんなときは根掘り葉掘り聞く必要はありません。子どもが親になんとか話してみても、親はなんとも聞いてみない。あるいは、なんともアドバイスしてみても、なんとも「また話してね」と言ってみて…などなど。コロナ禍ではありますが、そんなやりとりが弾む開放的な時間をもてる冬休みであってほしいと願っています。

## 生活科見学

1年担任 岸田 淳生

11月2日(月)1年生は品川区民公園に生活科見学に行きました。初めて校外活動ということで、みんなとても楽しみにしていました。校庭で出発式をして、南門を出発しました。まっすぐな列を崩さないように安全に歩くことができました。素晴らしい歩き方です。

公園では、「あきビンゴカード」で秋探しをしました。グループでの活動です。「あっちに行こう」「あの辺りに大きな葉っぱがありそう」と話し合っ、何種類かのドングリや様々な形、大きさ、色の落ち葉をたくさん拾いました。



楽しみにしていたお弁当は、班ごとにレジャーシートを広げて食べました。みんな笑顔いっぱいの楽しい時間でした。帰り道も安全を心掛け、最後まで乱れることなく学校に戻りました。

お弁当を食べた後、少し雨が降りましたが、大きなトラブルなく最後まで楽しい生活科見学になりました。

## まちたんけん発表会

2年担任 笹本 聡子

2年生は、生活科で自分たちの町について学びます。自分が住む町とはいっても、知らないところも多くあります。今年度は自粛期間中に保護者の方と学区を歩き、様々なものを見付けました。面白い形の建物や初めて見るお店があることにも気付きました。町のことをたくさん知って、自分の住む町に愛着をもってほしいと思います。



2学期には、公共施設等を知りました。町の人たちのための仕事やそこで働く人、そしてその思いに気付くことがねらいです。興味をもった施設を訪ねるグループを決め、リーダーを中心に質問を考えたり言葉遣いに気を付けて話す練習をしたりしました。取材活動では、多くの学習ボランティアの方々にご協力いただきました。

取材後、1年生に発表することを意識しながらまとめ、協力して発表練習に取り組みました。当日は、自信をもち、堂々と発表する姿が頼もしかったです。

## 「大縄記録大会」

3年担任 岩本 未央

11月19日に、学年で「大縄記録大会」を行いました。それぞれのクラスが目標回数を設定し、その回数に向けて練習しました。学級会で「どのように練習すると回数を重ねられるか」を話し合うクラスもありました。「連続で跳ぶには間を空けないほうがいいよ」「回す人は大きく腕を動かそう」など子どもたちなりに作戦を考えました。また、休み時間には自主的に練習をして、縄に引っかかってしまう友達に「ドンマイ!大丈夫だよ!」と優しく声掛けをしていました。当日は、緊張しながらも、どのクラスも全力で大会に臨んでいました。記録を達成したクラスも、残念ながら達成できなかったクラスも、「頑張ったね」とお互い励まし合っており、子どもたちの気持ちが一つになることができたとても良い機会でした。

## 4年野球教室

4年担任 村上 剛

11/9(月)に読売巨人軍のアカデミーコーチによる野球教室を行いました。読売巨人軍の「小学校体育支援事業」として投能力をはじめとする技術の向上や体育学習の充実を目的に、2011年から全国の小学校で始められたものです。全国の小学校をまわっていらっしゃるのなかなか体験できるものではありませんが、今回は運よくお越しいただけることになり、楽しみに当日を迎えました。

授業は元気よく挨拶するところから始まりました。元気のよい挨拶は何事にも大事です。次にキャッチボールを行いました。「トンクル投げ」という投げ方を教わりました。「『トン』は肘を上げて」「『クル』は腰をまわして」を意識させる投げ方でした。投げる距離が長くなっても子ども達は正確に投げられるようになり、上手になったことがはっきりと分かりました。最後に学習のまとめとして投げて走る「バックホームゲーム」を行いました。楽しみながら技能を身に付けられる、とても良い学習になりました。ジャイアンツアカデミーコーチの皆様、ありがとうございました。



芳川コーチの遠投。50m以上先まで正確に(相手が一步も動かずに)投げられました。



ゲーム中の様子。どこに投げたらたくさん得点できるかを考えながらプレイしていました。

## 琴体験

5年担任 八木 健登

「おお〜!!」多目的室に入るとき、子どもたちの中からそんな声が聞こえてきました。琴がずらっと並んでいました。畳の匂いが香る中、正座をして一人一人が真剣に取り組みました。弦のはじき方や、おさえ方に注意しながら「さくらさくら」を弾きました。「〇〇さんがうまい!」と友達の様子を教え合ったり、「聞いていてね」と披露し合ったりと夢中になって琴を楽しんでいました。最後には、「さくらさくら」をパートに分かれて全員で合奏しました。

終わるころには、「もう終わるの?」「楽しかった」

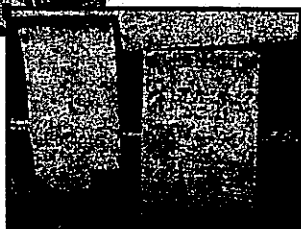
「もっとやりたい!」「中休みも練習したい!」と充実した表情で感じたことを伝え合う姿が印象的でした。日本音楽の伝統文化に親しむ貴重な体験となりました。



## ネットリテラシー

6年担任 曾根原 和明

11月12日にネットリテラシー教室を行いました。慶応義塾大学の小笠原和美先生とサイバー防犯ボランティア研究会の学生の皆さんから、ネット犯罪について学びました。オンラインゲームなど三つの犯罪事例を通して、それぞれ問題点と改善点を話し合いました。



例えば、画像公開の事例の問題点として、「名前や制服をSNSに公開したこと」を挙げ、その改善点として「個人情報を書きすぎないようにすること」や「保護者に公開してよいか相談すること」などについて考えました。授業中に、「そういうこと知ってる!」「よくあるよね」などの声が聞こえ、自分の経験としてしっかり重ね合わせて学習に取り組む姿が見られました。写真の通り、活発な議論が行われ、成果物に丁寧にまとめることができました。

今後、一人1台コンピュータが導入され、ますますインターネットが身近なものとなります。インターネットを一層楽しく安全に活用できるよう、今回の学びを生かしていきます。



年間重点生活目標「大一ABCを身に付けよう」  
**今月の生活目標**  
 生活のめあて マスクと手洗いをしましょう  
 保健のめあて よい姿勢をしましょう  
 給食のめあてきれいに手を洗いましょう



## 12月の行事予定

日付	曜	主な行事	日付	曜	主な行事
1	火	放送朝会	17	木	
2	水	避難訓練 午前授業	18	金	音楽朝会 フレンドまつり
3	木		19	土	
4	金	委員会活動⑤	20	日	
5	土	安全指導 授業参観	21	月	補習教室①
6	日		22	火	放送朝会 補習教室② 保護者会(6年)14:30~
7	月		23	水	音楽朝会 午前授業
8	火	放送朝会	24	木	給食終 補習教室③
9	水	午前授業 家庭科ごまの授業(6年)	25	金	終業式(放送) 午前授業
10	木	家庭科ごまの授業(6年) フレンドタイム⑤ 縦割り班会議③	26	土	冬季休業開始
11	金	児童集会(放送) 家庭科りんご教室(5年) クラブ活動⑤	27	日	
12	土		28	月	
13	日		29	火	
14	月	そろばん教室(4年)①	30	水	
15	火	放送朝会 脊椎腕健診(5年) そろばん教室(4年)② フレンドタイム⑥ 縦割り班会議④	31	木	
16	水	そろばん教室③			

### 生活指導部より

生活指導部 川口 祐一

師走に入り、世の中が慌ただしくなる時期です。16時30分頃を過ぎるとあっという間に陽が落ちている毎日に、大一の子どもたちの放課後の過ごし方を、親目線でも危惧しています。

- ① 約束の帰宅時刻は守られていますか？
- ② 自転車のライトの点灯は確実にでしょうか？
- ③ 自動車・バイクのドライバーから認識されやすい服装ででしょうか？

事故・事件にまき込まれないために、今一度、お子さんと確認をよろしくお願いします。また、学期末にあたり学習用具の計画的な持ち帰りを担任より声かけをします。冬休みの過ごし方についても、お便りを配布し指導する予定です。安全第一・健康第一で新年を迎えられよう、引き続きご協力をよろしくお願いします。

### リレーコラム「かかわる、創る」

4年担任 森本 睦美

大井第一小学校では、4年生になると地域の遺跡である『大森貝塚』について学習をします。大森貝塚を始め「考古学」について研究されている関俊彦先生の講演を聞いたり、品川歴史館に行って学芸員の方の話を聞いたり展示品を觀賞したりします。

太古の昔、大井第一小学校があったこの辺りに暮らしていた人々。当時の人々に思いをはせながら、自分たちの暮らし方や生き方も考えていく。そのような貴重な経験を毎年続けていけるのはとても素晴らしい環境だと思えます。そして、きっと将来、大井第一小学校の卒業生の中からも、今の私たちの想いを伝える人が出てくるでしょう。大森貝塚があった縄文時代と比べたら、何もかもが進化・発展した今の世の中です。でも、きっといつの世も平和を願い、まわりの人々と様々にかかわりながら文化を創り出していく人々の想いは変わらないと思えます。